

授業科目等の概要

(医療専門課程 柔道整復学科)																
	分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業 時 数	単 位 数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
	必 修	選 択 必 修	自 由 選 択						講 義	演 習	実験・実習・実技	校 内	校 外	専 任	兼 任	
1	○			健康心理学	心理学	2前	34	2	○			○			○	
2	○			スポーツ科学	スポーツ科学	1後	34	2	○			○			○	
3	○			健康科学	運動生理学・栄養学	2後	34	2	○			○		○		
4	○			自然科学1	生化学	1前	34	2	○			○		○		
5	○			自然科学2	生化学	1後	34	2	○			○		○		
6	○			社会科学1	社会と経済	1前	34	2	○			○		○		
7	○			社会科学2	医療情報学1	3後	34	2	○			○		○		
8	○			人体の構造1	解剖学	1前	34	2	○			○			○	
9	○			人体の構造2	解剖学	1後	34	2	○			○			○	
10	○			人体の構造3	解剖学	1前	34	2	○			○			○	
11	○			人体の構造4	解剖学	1後	34	2	○			○			○	
12	○			人体の構造5	解剖学	2前	34	2	○			○			○	
13	○			人体の構造6	解剖学	2後	34	2	○			○			○	

14	○		人体の機能 1	生理学	2 前	34	2	○			○	○		
15	○		人体の機能 2	生理学	2 後	34	2	○			○	○		
16	○		人体の機能 3	生理学	3 前	34	2	○			○	○		
17	○		人体の機能 4	生理学	3 後	34	2	○			○	○		
18	○		人体の構造と 機能 1	運動学総論	3 前	34	2	○			○		○	
19	○		人体の構造と 機能 2	運動学	3 後	34	2	○			○		○	
20	○		疾病の成り立 ち 1	病理学概論	2 前	34	2	○			○		○	
21	○		疾病の成り立 ち 2	病理学概論	2 後	34	2	○			○		○	
22	○		疾病の診方と 病態 1	一般臨床医学総論	3 前	34	2	○			○			○
23	○		疾病の診方と 病態 2	一般臨床医学総論	3 前	34	2	○			○			○
24	○		疾病の診方と 病態 3	一般臨床医学各論	4 前	34	2	○			○			○
25	○		疾病の診方と 病態 4	一般臨床医学各論	4 後	34	2	○			○			○
26	○		疾病の診方と 病態 5	整形外科学	2 前	34	2	○			○			○
27	○		疾病の診方と 病態 6	整形外科学	2 後	34	2	○			○			○
28	○		外科学概論 1	外科学概論	3 前	34	2	○			○			○
29	○		外科学概論 2	外科学概論	3 後	34	2	○			○			○

30	○		保健と衛生 1	衛生学・公衆衛生学	4 前	30	2	○			○			○
31	○		保健と衛生 2	環境衛生・感染症・消毒	4 後	30	2	○			○			○
32	○		柔道 1	柔道実技	1 前	30	2				○	○		○
33	○		柔道 2	柔道実技	1 後	30	2				○	○		○
34	○		柔道 3	柔道実技	3 前	30	2				○	○		○
35	○		柔道 4	柔道実技	4 前	34	2				○	○		○
36	○		社会保障制度	療養費の正しい取り扱い・職業倫理	3 前	15	1	○			○		○	○
37	○		関係法規 1	関係法規	4 前	34	2	○			○			○
38	○		関係法規 2	医療保険の仕組みと関係法規	4 後	34	2	○			○			○
39	○		基礎柔道整復学 1	体の仕組み	1 前	34	2	○			○		○	
40	○		基礎柔道整復学 2	柔道整復総論	1 前	34	2	○			○		○	
41	○		基礎柔道整復学 3	体の仕組み	1 後	34	2	○			○		○	
42	○		基礎柔道整復学 4	柔道整復総論	1 後	34	2	○			○		○	
43	○		基礎柔道整復学 5	柔道整復の歴史と職業倫理	1 前	34	2	○			○		○	○
44	○		外傷の保存療法 1	外傷の保存療法	2 前	34	1				○	○		○
45	○		外傷の保存療法 2	運動生理学	2 前	34	1				○	○		○

46	○		臨床柔道整復学 1	骨折各論（上肢・頭部・体幹）	2前	34	2	○			○			○
47	○		臨床柔道整復学 2	骨折各論（上肢・頭部・体幹）	2後	34	2	○			○			○
48	○		臨床柔道整復学 3	脱臼各論（上肢・頭部・体幹）	2前	34	2	○			○		○	
49	○		臨床柔道整復学 4	脱臼各論（上肢・頭部・体幹）	2後	34	2	○			○		○	
50	○		臨床柔道整復学 5	軟部組織損傷各論（上肢・頭部・体幹）	3前	34	2	○			○		○	
51	○		臨床柔道整復学 6	軟部組織損傷各論（上肢・頭部・体幹）	3後	34	2	○			○		○	
52	○		臨床柔道整復学 7	グループ研究（研究論文）	3前	34	2	○			○		○	
53	○		臨床柔道整復学 8	軟部組織損傷各論（下肢）	3後	34	2	○			○		○	
54	○		臨床柔道整復学 9	骨折・脱臼各論（下肢）	3前	34	2	○			○			○
55	○		臨床柔道整復学 10	骨折・脱臼各論（下肢）	3後	34	2	○			○		○	
56	○		柔道整復後療法 1	柔道整復学総論（外傷予防・物理療法総論）	2前	34	1				○	○		○
57	○		柔道整復後療法 2	高齢者の外傷予防	2後	34	1				○	○		○
58	○		包帯固定法 1	基本包帯法	1前	34	1				○	○		○
59	○		包帯固定法 2	基本包帯法	1後	34	1				○	○		○
60	○		包帯固定法 3	包帯固定法	1前	34	1				○	○		○
61	○		包帯固定法 4	包帯固定法	1後	34	1				○	○		○

62	○		柔道整復実技 1	人体の触察法	1 後	34	2				○	○			○	
63	○		柔道整復実技 2	上肢骨折実技と下肢骨折実技	3 前	34	1				○	○			○	
64	○		柔道整復実技 3	上肢骨折実技と下肢骨折実技	3 後	34	1				○	○			○	
65	○		柔道整復実技 4	上肢脱臼実技	3 前	34	1				○	○			○	
66	○		柔道整復実技 5	上肢脱臼実技と下肢脱臼実技	3 後	34	1				○	○			○	
67	○		柔道整復実技 6	認定実技対策	4 前	34	1				○	○			○	
68	○		柔道整復実技 7	認定実技対策	4 後	34	1				○	○			○	
69	○		柔道整復実技 8	物理療法の取り扱い方	3 後	34	1				○	○			○	
70	○		観察能力と分析	観察能力と分析	1 前	15	1				○	○	○	○		○
71	○		スポーツ外傷 の予防	高齢者及び競技者の外傷予防技術	3 前	15	1	△			○	○			○	○
72	○		運動指導法	高齢者・競技者・健常者の運動指導法	2 後	34	2				○	○			○	
73	○		臨床実習 1	附属整骨院臨床実習	1 前後	90	2				○	○			○	
74	○		臨床実習 2	医療センター・介護施設実習	2 後	45	1				○		○	○		○
75	○		臨床実習 3	附属整骨院臨床実習	3 後	45	1				○	○			○	
76	○		臨床実習 4	病院実習	4 前	45	1				○		○		○	○
77	○		社会生活	学会・救護実習等	1 後	30	2				○	○	○	○	○	○

78	○		健康づくり運動の実際1	ウォーキング・ジョギング	2前	15	1			○	○	○					
79	○		健康づくり運動の実際2	エアロビクス・ストレッチ	3前	15	1			○	○	○	○	○			
80	○		健康づくり運動の実際3	水泳・水中運動	3前	15	1			○	○	○	○	○			
81	○		健康づくり運動の実際4	レジスタンス運動、ウォーミングアップとクーリングダウン	3後	15	1			○	○	○	○				
82	○		応用柔道整復学1	医療情報学2	4前	34	2	○		○	○						
83	○		応用柔道整復学2	解剖学(国対)	4前	34	2	○		○	○	○					
84	○		応用柔道整復学3	解剖学(国対)	4後	34	2	○		○	○	○					
85	○		総合柔道整復学1	運動学(国対)	4前	34	2	○		○	○						
86	○		総合柔道整復学2	生理学(国対)	4後	34	2	○		○	○						
87	○		総合柔道整復学3	生理学(国対)	4後	34	2	○		○	○						
88	○		総合柔道整復学4	柔道後期、柔道整復学(国対)	4後	34	2	△		○	○	○	○				
89	○		総合柔道整復学5	卒業論文	4後	34	2	△		○	○	○					
90	○		総合柔道整復学6	柔道整復学・総論、体幹、上肢(国対)	4前	34	2	○		○	○						
91	○		総合柔道整復学7	運動学・リハビリ(国対)	4前	34	2	○		○	○	○					
92	○		総合柔道整復学8	柔道整復学・下肢(国対)	4後	34	2	○		○	○	○					
93	○		総合柔道整復学9	運動学・リハビリ(国対)	4後	34	2	○		○	○	○					

94	○		総合柔道整復学10	整形外科学／外科学（国対）	4後	34	2	○			○		○
95	○		柔道整復術の適応1	柔道整復学総論	2後	34	2	○			○		○
96	○		柔道整復術の適応2	職業倫理と社会保障制度	4前	34	2	○			○		○
97	○		体力測定法評価法	体力測定と評価	2後	34	2			○	○		○
98	○		生活機能の障害と機能回復1	リハビリテーション医学	2前	34	2	○			○		○
99	○		生活機能の障害と機能回復2	リハビリテーション医学	2後	34	2	○			○		○
合計					99	科目	3298 単位（単位時間）						

卒業要件及び履修方法		授業期間等	
卒業要件：全科目不可がないこと。		1学年の学期区分	2期
履修方法：全科目が必修科目となっている。授業時間割に従い履修する。		1学期の授業期間	34週

（留意事項）

- 1 一の授業科目について、講義、演習、実験、実習又は実技のうち二以上の方法の併用により行う場合については、主たる方法について○を付し、その他の方法について△を付すこと。
- 2 企業等との連携については、実施要項の3（3）の要件に該当する授業科目について○を付すこと。